

決算報告書

第14期事業年度

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

平成 29 年度 決算報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	28,122	28,421	299	(注 1)
施設整備費補助金	981	981	△0	
補助金等収入	1,847	1,879	32	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	—	
自己収入	174	309	134	
雑収入	174	309	134	(注 3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,144	3,787	643	(注 4)
目的積立金取崩	—	—	—	
計	34,323	35,432	1,108	
支出				
業務費	28,296	27,136	△1,160	
教育研究経費	28,296	27,136	△1,160	(注 5)
施設整備費	1,037	1,037	△0	
補助金等	1,847	1,879	32	(注 6)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,144	3,207	63	(注 7)
計	34,323	33,258	△1,066	
収入－支出	—	2,174	2,174	

端数は四捨五入により整理されております。

なお、各項目の端数整理の関係から計が一致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

(注 1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越し、及び年俸制導入促進費、退職手当の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 299 百万円多額となっています。

(注 2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 32 百万円多額となっています。

- (注3) 雑収入については、予算段階では予定していなかった消費税の還付や損害賠償金の入金などにより、予算額に比して決算額が 134 百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究等及び寄附金による収入が見込みよりも多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 643 百万円多額となっています。
- (注5) 教育研究経費については、平成29年度に実施予定であった事業の一部を翌年度に繰り越した事等により、予算額に比して決算額が 1,160 百万円少額となっています。
- (注6) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が 32 百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階では予定していなかった寄附金による収入が見込みよりも多額となったことに伴い、寄附金事業費が多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 63 百万円多額となっています。